

かじかのさとだより

第35号

発行/〒889-2401 日南市北郷町大藤甲3186番地1/TEL0987(55)3738 FAX0987(55)3739

社会福祉法人 愛泉会 特別養護老人ホーム 河鹿の里



旧デイサービス跡に個室完成

旧デイサービスセンターを改修し、従来型個室が完成しました。三ヶ月に渡った工事期間中は、利用者の皆様、御家族の皆様には、大変御迷惑をお掛けしました事を、心よりお詫び申し上げます。

改修された居室は、茶色を基調とした落ち着いた家庭的な雰囲気です。各居室は花の名前になっており、部屋数八部屋、日当たりも良くウッドデッキも設けてあります。また、冷暖房完備、洗面所も設置され、収納棚も使い勝手良く置かれています。廊下の幅も広くフロアになっており、開放的な空間になっています。利用される皆様の集いの場となり、余暇時間を過ごして頂ける事と思っております。

個室は、プライバシー保護や、ライフスタイルの確保ができ、ゆとりある生活空間の提供はよりいっそう快適に過ごして頂けると思っております。利用されている皆様方には、大変好評で「良かった」と喜びの声を頂いております。

現在のところ、行事や取り組みは大きく変わりませんが、新たな活動の実施にむけてスタッフ一同、色々と企画していきたいと考えております。

御来園の際には、是非一度お立ち寄り下さい。

※ 写真、名前の掲載はご家族、ご本人の承諾を得ています。

インフルエンザ予防

新型インフルエンザが全国的に流行しています。今回の新型は弱毒性ですが、すべての人が免疫を持っていないため、皆が感染する可能性があると言われています。感染しないためにはしっかりと予防することが大事です。現在、施設では外出後のうがい手洗いの実施、細めな手指の消毒を行っています。風邪症状がある場合は早期受診を心掛けています。職員も自己の健康管理に留意し、うがい手洗いの励行に努めています。また、御家族の方にも面会の時の手指消毒、マスクの着用、決められた場所での面会、居室への入室を制限するなど、御協力を御願ひしています。今後は二回の予防接種を予定しています。

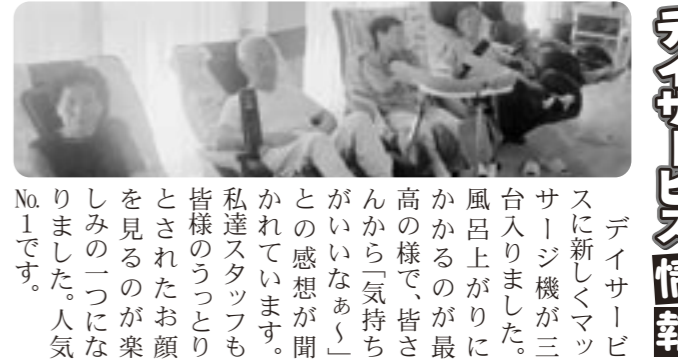
予防に心掛けていても感染する可能性はあります。そうならないよう、職員一丸となって取り組んでいきますので、皆様の御協力をよろしくお願ひします。

- ★眼鏡 携帯電話を探し回る
- ★久しぶりに再会した知人の名前が思い出せない
- ★買い物に出かけたが、何をかうのか忘れた
- ★数日前に友人とぼつたり会ったが、どこで会ったか忘れた
- ★勤めをやめて以来、時々曜日がわからなくなる
- ★印鑑や通帳をどこにしまったか思い出せない
- ★買うものをメモして出かけたが、メモを持っていないことを忘れた
- ★数日前に会った友人から連絡があつたが、会ったこと自体忘れていた
- ★いつも作る料理の手順が解らなくなった
- ★親族の冠婚葬祭への出席予定を忘れてしまった
- ★旅館の大浴場に行ったら、部屋に戻れなくなった

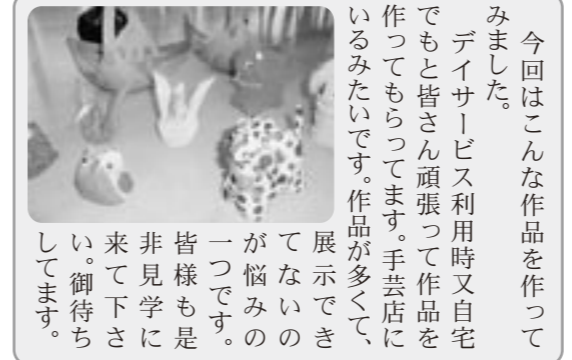
チェック

0個……異常なし
1〜4個……通常の物忘れです
5〜7個……物忘れが多くなってきました
8個以上……日常生活に支障はありませんか？一度専門医に相談した方がよいかもしれません。

デイサービス情報

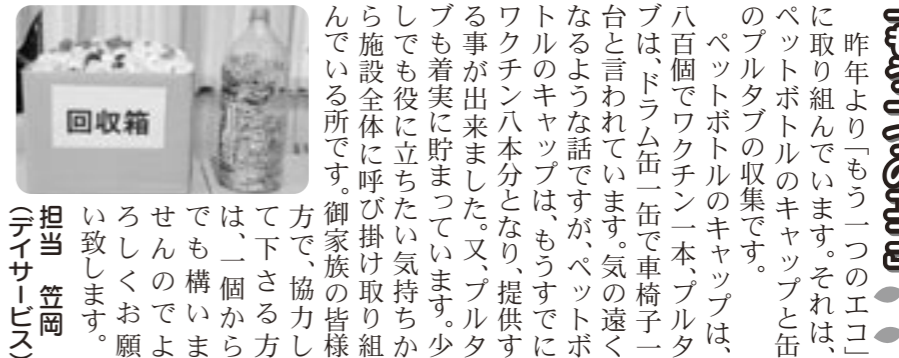


今回はこんな作品を作ってみました。デイサービス利用時又自宅でも皆さん頑張つて作品を作つてもらつてます。手芸店にいた作品が多くて、展示できないのが悩みの一つです。皆様も是非見学に来て下さい。御待ちしています。



昨日より「もう一つのエコ」に取り組んでいます。それは、ペットボトルのキャップと缶のプルタブの収集です。ペットボトルのキャップは、八百個でワクチン一本、プルタブは、ドラム缶一缶で車椅子一台と言われています。気の遠くなるような話ですが、ペットボトルのキャップは、もうすでにワクチン八本分となり、提供する事が出来ました。又、プルタブも着実に貯まっています。少しでも役に立ちたい気持ちから施設全体に呼び掛け取り組んでいる所です。御家族の皆様方、協力して下さる方は、一個からでも構いませんので、よろしくお願ひ致します。担当 笠岡(デイサービス)

「もう一つのエコ」



方、協力して下さる方は、一個からでも構いませんので、よろしくお願ひ致します。担当 笠岡(デイサービス)

AED講習

私達が緊急事態に遭遇した場合、適切な応急手当てを実施するには、日頃から応急手当てに関する知識と技術を身につけておくことが大切です。応急手当ての第一の目的は

編集後記

秋も深まり、山々の紅葉も目に美しく、本格的な冬の到来を間近に感じる季節となりました。大流行しているインフルエンザが、今年もあとわずかとなりました。皆様の御協力に感謝し、来年もよろしくお願ひ致します。

生命を救うこと「救命」です。河鹿の里では全職員を対象に日南消防署の職員を招き、心肺蘇生法や自動体外式除細動器「AED」の取り扱いの講習を行いました。消防署の職員の方、注意事項等を聞きながら、見学だけでなく一人一人が実際に挑戦しました。緊急事態を想定し周囲の人に協力を求める場面では、緊張してなにか普段のような大きな声が出せず反省する点もありました。慌てず落ちついて行動する事は、とても難しい事だと思われました。当施設も、施設内とデイサービスに「AED」が設置してあります。

今回学んだ事を活かせるように、一人一人が意識を持ち、的確な行動ができるよう、日頃から訓練していく必要があると強く感じました。

「私のお母さん」

ある日突然、脳梗塞で倒れた母。それまで元気過ぎるくらい元気だったのに…。

昭和三年二月生まれで今年満八十一歳の母です。七人兄妹の末っ子に生まれた母は、若くして舅・姑・小姑の居る大家族の家庭に嫁ぎ随分苦労をしたようです。でもすぐく明るくて何事も笑顔を絶やさず私達家族を元気にしてくる人でした。何よりも働くことが好きだった母は、自身も苦労したせいなのか、私達三人の子供には辛い思いをさせまいと夜中からの仕事も平気でこなし、「きつい！」などと弱音を吐くことは無かったですね。

そんな母が六年前の夏、仕事場で突然倒れ、闘病とリハビリの生活を送ることになっ



坂友タカ子様

母の想い

たのですが、不幸は重なるもので、自らの病を押して母のリハビリを手伝い励ましていた父がそんな母を残して、その年の冬に他界してしまっただったのだと思えてなりません。その後、多少認知症が見られるようになってからというものの、時折りまだ父が生きているかのような錯覚に陥る母の姿を受け入れられずにいる私がいまいました。あんなにしっかりと母があの様な姿になるなんて、娘としてどうしても認めたくなかったのです。病気がそうさせている事だからと思えるようになるまでには、相応の月日が掛かりました。今私は、遠く神奈川県に居るため仲々会いに行くことは出来ないのですが、たまにかける電話での母の声はすぐく元気そうで安心しております。入所当時は環境の変化に慣れなかったせいも、施設の皆様には多々ご迷惑をお掛けした事でしようが、最近の母は昔のように明るくなったように思えます。それも日頃の施設の皆様方のお世話のおかげだと感謝しております。

今後とも、我がままな母ではあります。が、よろしくお願い致します。

行本 儀子(娘)

「ハツ子さんと私」

大正十四年九月十日生まれの八十四才です。日南市園田で四男二女の長女として今まで実家を守ってきました。

嫁がれた経験が全くなく一人なのです。お母さんを早くに亡くされ末の弟を子供のように育てたといつも話していました。お父さんとは昭和五十年代に交通事故で亡くされました。

ハツ子さんは、私の主人の姉さんが嫁いだ先の姉さん



金丸ハツ子様

担当職員より

いつもお洒落なタカ子様。常にコーディネートされ、着飾っていらつしやいます。又、お話好きで、スタッフや他の利用者の皆様色々な話を聞かせて下さいます。これからも楽しく過ごして頂き、ステキな笑顔を見せて下さいね。

なのです。姉さん一家は広島市に住んでいて、最後の事を考え六十才になるまで宮崎で旅館の仲居として働いていたそうです。務めを辞めてからは一人暮らし、吾田におられる叔母さんと共に墓参りに行くのが楽しみだったそうです。

家族と言えば弟(広島)、妹(横浜)、弟(大阪)にいます。ですが(第二人は既に亡くなっています)それぞれ家族がいるのでそう簡単に、引き取る事は出来ないでしょう。広島市の姉さんからハツ子さんの面倒を見てくれと頼まれた訳ではないのですが、私がするしか道はないと考え、毎日残務整理に明け暮れました。まず認知症の認定を受けることから始まり、毎月一回病院への診察に連れて行っていたのですが、病気の進みは早く介護保険の点数は全て使っていました。一人では家に住む事が出来なくなりました。(しあわせの里)最初の夜は家に帰るとガラスが割れたばかりの強さでたたかれました。その事を聞き面会へ行くと帰ると言われるから、ダメと面会も出来ず泣き泣き帰ったものでした。やっと施設にも慣れてき



た頃、この施設にお世話になったのですが、慣れるまでが大変だったと思います。今では、スタッフの方々の親切に甘え自由に振舞っているように見受けられます。

私は六十五才を過ぎて日舞を習うようになりました。きっかけはハツ子さんが施設に入所されたからです。慰問に行くのが目的で、一人でも多くの利用者さんが喜んで下さればいいかなあ…と思つて。今後共宜しくお願い致します。

安子(義妹の義妹)

担当職員より

笑顔の素敵なハツ子様、いつもスタッフの顔を見かけると、手招きをされ内緒話をして下さいますね。これからの色々な話を聞かせて下さい。楽しみにしています。

坂友様、金丸様の御家族様、御協力頂き、ありがとうございます。

中嶋さんは、早くに父親を亡くされ、米や野菜、煙草等の栽培に忙しい毎を送られていたそうです。又、農閑期には、大阪や名古屋、平塚



中嶋 信雄様

「一番心に残っている事は何ですか」との質問に、即座に「役場で働いた時の事やな」と答えて下さいました。税金の係を担当されていたらつしやったそうで、とにかく大変忙しく、毎日そろばんと帳面のにらめっこだったそうです。お茶汲み、接待、収入役の手伝いもされていたとの事、「大変だったけど務めた事が一番の思い出です」と当時を思い出しながら語って下さいました。



山下 子ヨ様

昔の想い



久島 光子様

川越さんは、「自分の事だから」と言われ、健康の為に毎日早朝から車椅子で園内を廻られ、運動を続けていらつしやいます。時には、忙しく動き廻るスタッフに対し、やさしい励ましの言葉も掛けて下さいます。

これからも無理をされない様続けていって頂きたいと思ひます。



川越トシ子様

頑張っています

方面にまで出稼ぎに行かれ、鉄の加工や車の部品組み立て、菓子の箱詰め作業など様々な仕事に携われ頑張つてこられたとの事です。忙しい日々の中での楽しかった事を尋ねると「家族皆で過ごした時間」と話して下さいました。



収穫祭

秋晴れの屋下がり、六月頃に園庭に植えたさつまいもが実りの時を迎え、収穫を行いました。実習中の農林高校の学生さんと一緒に堀り上げたいもを手に取り、「ハイ、チーズ」笑顔のスナップです。

「クワで掘らにゃ」「赤いもだわ」「こらこめえなあ」「大きいのが入っちゃった」「そらそこにもあるが」など皆様の楽しそうな声が飛び交い、とても賑やかな収穫祭となりました。約9kgのおいもが獲れました。

書道に絵画に手芸クラブと、毎回積極的に参加されています。手芸クラブでは、手先を使う細かい作業が多く有りますが、根気強く一生懸命に取り組まれる姿がみられています。何事も常にマイペースで行動されている光子様です。



誕生会

九月十五日、敬老会が行われました。「花柳流北郷同好会」の皆様によりダンスとスタッフの寸劇で利用者の方々に楽しんで頂けた事と思っております。当施設では現在百歳を迎えられた方が四名いらつしやいます。皆さん元気にお過ごします。

今後も皆様が健康で楽しく生活して頂けます様に、努めていきたいと思います。



敬老会



バイキング料理 北海道フェア

みそ味のサクのチャンチャン焼きが、とっても美味しいと大好評でした。

十月に運動会を開催しました。メイン競技のパン食い競争や大綱引きでは、大変盛り上がりましました。紅白対抗戦は白熱戦となり、なかなか勝負がつかない程でした。皆さん一生懸命頑張られました。

運動会

九月度の誕生会に日南市カラオケ愛好会の皆様がお祝いにかけて下さいました。御三人のとても素晴らしい歌声に感激され、涙ぐまれる方もいらつしやいました。

五名の誕生者の皆様にとりましては、とてもステキなプレゼントとなりました。河野様、重永様、高崎様どうもありがとうございました。